
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第 137 号(2024.5.17)
農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力！

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第 137 号をお届けします。

---第 137 号の目次---

1 活動組織の活動紹介

☆^{さかはらちょう}阪原 町環境保全向上活動組織（奈良県奈良市阪原町）☆

耕作放棄の防止を目的にコスモスを栽培し、毎年「コスモス祭り」を開催しています！営農組合の直売所には市外からの来客者も増えています！

☆^{かみふつと}上古戸地区環境保全会（^{きたしたらくんとうえいちょう}愛知県北設楽郡東栄町）☆

移住者や他の地域団体なども参加し、地域一丸となって草刈りや清掃活動に取り組んでいます！

2 活動組織へのインタビュー

☆^{こうじろ}神代地区資源保全活動組織（^{うんぜん しくにみちょう}長崎県雲仙市国見町）☆

土地改良区が解散した中でも、多面的機能支払交付金を利用することで、農業用水路の補修が継続できています！組織の代表の方にインタビューを行いました！

3 活動組織の活動の啓発・普及紹介

☆^{ふなぎ}船木クラブ（^{ひらとしふなぎちょう}長崎県平戸市船木町）☆

景観形成活動や水質保全活動に関する広報誌を毎年作成し、地域の方々への周知を図っています！

4 令和 6 年度 5～7 月の多面的機能支払イベントカレンダーを作成しました！

【編集後記】

■ 1. 活動組織の活動紹介(1)～^{さかはらちゅう}阪原町環境保全向上活動組織(奈良県奈良市阪原町)～ ■

～ 地区概要 ～

奈良市の東部山間に位置し、主に水稻（ヒノヒカリ、キヌヒカリ等）及び耕作放棄地対策として WCS を栽培しています。

活動範囲は、田 50.7ha、畑 3.2ha、農道 20 km、水路 15 km、ため池 5 箇所です。

～ 主な取組 ～

◎協定参加者の高齢化による後継者不足に対応するため、圃場整備を機に設立された営農組合を中心に、集落一丸となって地域資源である農地の維持管理に取り組んでいます。

◎営農組合女性部による「阪原営農組合直売所コスモス」では、野菜・大和野菜の丸ナス・米・花・黒豆枝豆に加え、草餅・手作りコンニャク等を販売し、市内はもちろん、大阪や京都からの来客もあります。

◎都市住民との交流及び耕作放棄地防止を目的にコスモスを栽培し、毎年 10 月に「コスモス祭」を開催しています。コスモスの摘取りやサツマイモ掘り等は好評を博しています。

◎このような活動により、多面的機能支払交付金制度等で優れた取組を実践している組織に対する県独自の表彰制度により、令和 5 年に表彰されました。



イベント風景



芋掘り風景



コスモス祭



農村振興優良組織表彰

編集担当 SDGs コメント



営農組合だけでなく、集落一丸となって農地の維持管理に取り組んでいることから、目標 16（多様な主体の参画による地域づくりを促進する）に貢献する活動が行われています。また、その活動の目的が後継者不足への対応であることから、目標 2（持続可能な農業生産を支える）にも繋がります。

そのほかにも、「阪原営農組合直売所コスモス」の運営を営農組合女性部が担っていることから目標 5（女性の参画により、地域や活動組織の取組の可能性を広げる）にも貢献しています。

これからも、様々な方が参画したより良い地域づくりを応援しています。



■ 1. 活動組織の活動紹介(2) ～^{かみふっ と}上古戸地区環境保全会(愛知^{きたしたらくんとうえいちょう}県北設楽郡東栄町)～ ■

～ 地区概要 ～

愛知^{とうえいちょう}県東栄町は県の北東に位置し、美しい田園風景が残る地域です。集落が山に囲まれた中山間地域で活動しています。

活動範囲は、田2ha、農道1km、水路1kmです。

～ 主な取組 ～

- ◎ 本組織は、農地の荒廃を防止して美しい景観を保全するため、移住者や他の地域団体と協力し、地域が一体となり、草刈りや清掃等の維持管理を行っています。
- ◎ 農地、農業用施設等の資源を保全するために、毎年度末にかけて機能診断及び役員会を行い、次年度の活動計画を策定しています。その計画に従い、農用地や用排水路、農道のきめ細かな雑草対策を年間3回以上、泥上げを年2回実施しています。
- ◎ 地域住民に対しては、多面的機能支払交付金の取組について周知するため、町の広報誌に活動を掲載しています。また、地域の年中行事に協賛し、伝統の継承に努めています。
- ◎ 今後は、活動区域内を流れる沢に生息するホタルを保護し、増やしていく活動にも力を入れたいと思っています。



清掃活動の様子



役員会の様子



民俗芸能「花祭」



水路の泥上げの様子

編集担当 SDGs コメント

地域が一体になり草刈りや清掃等の維持管理を行うことは、目標 11（住み続けられる地域をつくる）に貢献しています。また、その活動を移住者や他地域の団体とともに協力して行うことは目標 17（効果的な市民社会のパートナーシップをすすめる）にも繋がります。地域住民への情報発信は、活動の裾野を広げ、多くの方の参加を促す機会になることとなりますね。これからも地域ぐるみの保全活動を応援しています。



■2. 代表者等へのインタビュー ～^{こうしろ}神代地区資源保全活動組織(長崎県^{うんぜん し くに み ち ょう}雲仙市国見町)～■

組織の概要

雲仙市国見町は、長崎県の中央部の東側に位置し、北は有明海、南は雲仙岳に囲まれ、みどり豊かな農村地帯です。

活動範囲は、田 65.04ha、畑 22.01ha の計 87.05ha、水路 40.9km 農道 4.0km であり、活動は平成 19 年度から実施しています。



代表の永野政光さん

～インタビュー～

Q：組織の代表を継いだきっかけを教えてください。

A：活動には設立当時から構成員として参加しており、平成 24 年からは副代表に就任。令和 4 年度から前任の代表が高齢であったため、副代表 2 名の中から私が選ばれ代表となりました。

Q：組織を運営する中で苦労したことはありませんでしたか？

A：組織内において兼業農家が多く、水路補修等に参加者が集まらないため、人集めに苦労しています。

それから、土地改良区が令和元年度に解散となったため、活動組織の代表である私のところへ各施設に関する問合せの連絡があり、その度に現地へ出向き、聞き取りを行っています。活動自体も水系単位や集落単位であるため、活動の取りまとめや、予算配分・管理において、毎月状況確認を行い、全体組織の予算との調整等に苦慮しています。

また、絶滅危惧種でもある「オキチモズク」については、移植等の活動をしていますが、なかなか成果が表れません。一旦崩れかけた自然は復元が難しいですが、継続していく必要があると考えております。



総会・役員会の様子



水路草刈活動の様子

Q：代表者(役員)として心がけていることを教えてください。

A：活動組織内各地区の要望や活動予算等、何でも相談していただけるように、また、信頼していただけるように心掛けております。制度内容については、まだまだ分からないことばかりですが、受けた相談事は必ず他の役員と協議を行うように心がけております。

Q：構成員との関わり方を教えてください。

A：以前は活動や会議の際などに少し話す程度でしたが、代表になったことで、構成員の方から相談事などを聞く機会も増えましたので、もっと気軽に相談してもらえそうな代表になれるよう頑張っています。

Q：どのような活動をしているか教えてください。

A：県営圃場整備事業の事業完了から約 30 年経過しており、各所において、農業用水路などが経年劣化により更新時期を迎えているため、その補修をメインに活動しています。

それから、景観形成活動も力を入れており、自治会等を中心に道路法面等に芝桜、緋寒桜を植栽しており、毎年 5 回の植栽や樹木手入れ等、延べ 100 名が参加しております。

また、希少種の監視として周辺地域内で激減している「オキチモズク」について何とか復活してほしいと保全活動を頑張っています。



水路補修活動の様子



芝桜植栽活動の様子

Q：生態系保護として、「オキチモズク」の希少種の監視に力を入れておられますが、その理由や工夫していることについて教えてください。

A：「オキチモズク」について、土黒川で 1907 年に発見されましたが、2003(平成 15)年に生息なしと報告されています。また、神代川においては、1994(平成 6)年に生息が確認されましたが、2008(平成 20)年には確認されず、近隣の釜蓋川で 2003(平成 15)年に生息確認ができています。このようなことから、活動開始(平成 19)年度より、この神代地区活動組織において、何とか神代川に「オキチモズク」が生息できるようにと保全活動を続けてきました。

保全活動については、小学 5・6 年生と一緒に移植を行い、毎年定期的に観察を行っています。また、小学校の施設内の池には、移植された「オキチモズク」が生息して

おり、活動組織が小学校へ出向き、生態系に関する勉強会を実施しています。

Q：多面の活動を実施してよかったことを教えてください。

A：最近のこととしては、土地改良区が解散したことで、計画的な補修ができなくなっていました。が、多面的機能支払交付金の活用により、施設の補修ができることが、非常に助かっており、最大のメリットと感じています。

農村環境に関しては、認定区域の範囲を自治会中心に(特に非農家の参加が多い)空き缶拾いを行っていることで、地域住民の意識が変ってきており、参加者数は増加傾向にあると感じています。

それから、「オキチモズク」に関しては、子供たちと一緒に生態系について学習する機会ができ、故郷を守ることにについて共有できているのではないかと思います。



希少種監視活動の様子



小学校と連携活動の様子

Q：今後の展望や目標があれば教えてください。

A：まだまだ、代表になったばかりで、わからない

ことだらけですが、前代表や他の役員達に協力してもらいながら、草刈りなどの基本的な農地を守る活動、植栽活動、オキチモズクの監視などの環境保全活動、水路の補修などの長寿命化活動などをこれからも継続していきたいです。

特に小学校との連携活動は、環境や地域のことにに対して幼い頃から関心を持つために重要であると思うため、これからも途切れることなく活動していきたいです。

Q：他の活動組織のリーダーへ伝えたいことはありますか。

A：私たちの組織のように、一人の代表が長年リーダーとして活動している組織は多いと聞きました。どうしても代表はリーダーとしての役割があるため、他の方に変わらず同じ方が務めることが多いのだと思います。

ただ、私たちの組織のように、高齢化などの避けられない理由から、代表が変わるということはどの組織でもあり得ることだと思いますので、リーダー一人に任せきりにするのではなく、組織全体で協力しながら、活動することが大切だと思いました。

【神代地区資源保全活動組織：代表 永野政光】

編集担当SDGsコメント

絶滅危惧種である「オキチモズク」の保全活動を行うことで目標11（住み続けられる地域をつくる）に貢献しています。また、児童に対し環境学習会を開催することで地域コミュニティを形成し、持続可能な地域づくりを行っていることから目標4（地域内外の人に質の高い教育、生涯学習の機会を提供する）にも貢献しています。地域の皆さんが参加する地域づくり活動を応援します！



■3. 活動組織の広報誌紹介 ～^{ふなぎ}船木クラブ(長崎県平戸市^{ひらどしふなぎちょう}船木町)～■

広報誌・自治会だよりの概要

- ◇ 桜の木の植栽（景観形成活動）及び止水版の利用促進（水質保全活動）にかかる活動について、年に1回広報誌を作成しています。
- ◇ 広報誌については、活動組織の総会時に配布するほか、地区の公民館の掲示板上に掲示をして、周知を図っています。
また、新型コロナウイルスが蔓延する前までは、地域内での各種イベントでも配布をしていました。

～ 工夫しているポイント ～

ポイント1 瞬間的に見た人の興味を引けるよう、可能な限り写真を大きくレイアウトしています。

また、文字の色使いについても見た人の注意を引くよう工夫しています。

ポイント2 活動の経過がわかるよう、植栽後に花が咲いた様子を掲載しています。

ポイント3 他地区の例を取り上げ、農地の土粒子が海へ流失しないよう、事前に周知しています。

船木町の皆様へ

地域資源の質的向上を図る活動をみんなで取り組みます

船木クラブでは多面的機能支払活動として、従来の農地を維持する活動に加えて、農村環境を取り巻く多様な環境の中で、地域の資源を守っていくための活動を行っています。住民の皆様のご理解とご参加をお願い致します。

船木クラブの取組

(植栽する候補地があれば)

【ポイント1】レイアウト・文字の色を工夫

■景観形成活動

遊休農地や農用地周辺に景観作物を植栽します



今年は公会堂横に6本の桜をうえました



木は小さいですが、花が咲きました

■水田の排水からの濁水流出防止に取り組みます

【ポイント2】経過のお知らせ

川に濁水が流れると海岸の環境も悪化します。

止水板を使って、濁水流失を防止しましょう!!

〈コンパネが必要な方は申し出て下さい。支給します。〉



落水口にコンクリート製の止水板がない圃場は、代かき前に利用しましょう

代かき作業が始まると泥水です。少しの努力できれいになるはずですよ。



3月中旬から6月末までは毎年泥水状態（古田川の例）
汚れた水がそのまま海へ流れます

【ポイント3】他地区の例の紹介

作成：令和5年3月27日
船木クラブ

■4. 令和6年度 5～7月の多面的機能支払イベントカレンダーを作成しました！■

多面的機能支払交付金の情報発信として、本交付金に関する各地のイベントの日程などをまとめたイベントカレンダーを作成しました。より本交付金を学びたい方や他組織の活動の様子を参考にしたい方などに活用してほしいです！本メルマガ掲載時より、イベントの情報が更新される可能性があるため、詳細は問合せ先までご確認ください。

月	日	曜	都道府県	イベント名（主催者）	備考	問い合わせ先
7月	4日 5日	木 金	北海道	令和6年度農村振興パネル展 （北海道農政部農村振興局農村設計課）	・多面的機能支払制度のPR （道庁ロビーにて、PRパネルの展示やDVD上映による活動事例の紹介、パンフレットの配布等）	北海道農政部農村振興局農村設計課 011-204-5399

■ 編集後記 ■

読者のみなさま、こんにちは。ゴールデンウィークはいかがお過ごしでしたか？私はスカイツリーや浅草寺など、はじめて東京らしい場所を観光してきました。人の多さには驚かされましたが、雲ひとつない快晴でスカイツリーの展望台からの景色は圧巻でした。遠くに富士山を見ることもできました！



入省から早くも2ヶ月が経とうとし、5月の後半からは研修や地方派遣等が続きます。貴重な経験を身にできるよう頑張っていきたいと思います。いつもメールマガジンを読んでいただきありがとうございます。次回の投稿もお楽しみに！

◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからもご覧いただけます！→

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf



◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇多面版 SDGs アイディアシート（案）◇

SDGs アイディアシートのダウンロードは以下のサイトから。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/jirei_SDGs.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしています！！

tamen_ml@maff.go.jp

-----【発行】-----

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
農林水産省農村振興局整備部農地資源課
多面的機能支払推進室（担当：青木、土田）
TEL：03-3502-8111（内線 85683）
